

発行所
留萌市役所
電話(代)270番
編集人
市民課長 青山喜三郎
留萌市町三丁目
印刷所 金子印刷所
(毎月1回1日発行)



主な目次

- 新機構で積極的な市政を……P 1
- 市営住宅などの入居者募集…… 1
- 留萌市の財政事情…… 2 3
- 10月1日に国勢調査…… 4
- 基本選挙人名簿の調製…… 4
- 拠出制国民年金…… 4
- 15日はとしよりの日…… 4



警備艦「にれ」がヒョッコリそ

長、議長さん等が訪れ、拍手の中で花束を贈り歓迎の挨拶をしました。翌二十一日は市民に艦内を一般公開、日曜日とあつて家族づれなども混つて大賑わいを見せ、惜しまれながら夕方維内に向けて港を出ました。

○…本年もまたおなじみの海上自衛隊の警備艦「にれ」などが夏の留萌港を訪れました。

警備艦「にれ」を先頭に駆逐艦「おたか」や「みづたか」の三隻で八月二十日朝ひよつこり留萌港に勇姿をみせたものです。

○…さつそく市からは、市民課・折からの音楽中パレードに加わり、沿道の市民にマーチ(行進曲)の挨拶をし、万雷の拍手を受け一段とパレードに華をそえました。

○…この日は丁度招魂祭、さつそく船でやってきた音楽隊も折からの音楽中パレードに加わり、沿道の市民にマーチ(行進曲)の挨拶をし、万雷の拍手を受け一段とパレードに華をそえました。

写真
笑顔の中で花束が贈られました

市民課・保険課を新設

市民のサービスと事務の合理化

新機構で積極的な市政を

市役所の仕事は年々多くなり、複雑になってきました。このため市民のみならず、市民のサービスと事務の合理化をはかることになりました。

市ではこの新たらしい機構で、さらに積極的な市政を進めます。

とかくお役所は、入りづらいつと、機構が複雑で用事が簡単にたせないとこのころという考え方があつたのではないのでしょうか。

しかし市民のサービスセンターである市役所は、そのうしろでも十年に一度と起されるが、調査であらわされた数字はお世辞や、感情にまどわされたことをいわない。正直者の数字、統計はそれだけ私達には貴重な存在である。

現在留萌市が隣接二カ町村と提携して進めている留萌地区工場適地調査は、その意味から市に衣を着せることなく、卒直に留萌市産業振興の隘路とその振興方策をおしえてくれるだろう。

「今日を知り明日につながる国勢調査」と懸賞標語

市民課は市役所にこれら市民の方が少しでも早く簡単に用がたせられるようサービス部門

市民課はサービス部門

健康で文化的な都市を

健康で文化的な都市を

市民課は市役所にこれら市民の方が少しでも早く簡単に用がたせられるようサービス部門

市民課はサービス部門

季節の言葉

統計の當り年

橋本 作市

本年は三十年に一度という統計の當り年といわれるだけあつて、農林業センサスや十月一日の国勢調査という大がかりなものから、例年行われているものを含めて約十件にものぼるといふ。

私達は小さいときから文字と同じ数字を覚えてきたが、とかく数字とか統計などと数字に縁のあるものは、めんどろくさかられるのが常ではないだろうか。

しかし私達市政をあずかる者にとつて、この数字が行政への正しい指針を与えかつ私達への無言の助言者として、非常に重要な役割をもっている。

以前に読んだある本に、アット思ふ程のアイデアを考へ出した人の実例をあげて、アイデアもまた数字、

そのものずばりの国勢調査も愈々十月一日には全国一律に行われることになつた。この調査は五年ごとに行われ、国の行方統計調査のうち最も基本的で大規模なものであるが、本年は特にそのうちでも十年に一度と起されるが、調査であらわされた数字はお世辞や、感情にまどわされたことをいわない。正直者の数字、統計はそれだけ私達には貴重な存在である。

現在留萌市が隣接二カ町村と提携して進めている留萌地区工場適地調査は、その意味から市に衣を着せることなく、卒直に留萌市産業振興の隘路とその振興方策をおしえてくれるだろう。

「今日を知り明日につながる国勢調査」と懸賞標語

(留萌市長)

新しい機構

(総務課)	秘書、庶務、企画調査、支所
(財政課)	主計、用度、管財
(税務課)	賦課、徴収
(保険課)	国保、国民年金、保健、伝染病院、と場西病院、東病院、診療所
(市民課)	市民、戸籍、住宅、清掃、火葬場、墓地
(経済課)	農林、水産、商工
(水道課)	業務、工務
(土木課)	庶務、土木、建築、都市計画
(港湾課)	管理、工務
(出納室)	出納
(福祉事務所)	福祉、社会、労政、労働会館、保育所、公益質屋

太字は新設の課と係。以上のほかに事務を扱う所、施設がありますが省略しました。

入居者を受け付け

12-21日 市、道営住宅

本年建設される市営、道営住宅は、近く完成されませんが、入居者の募集を次の要領で受け付けます。

市営住宅は二十八戸(春日町十二戸、大町十六戸)道営住宅(低所得者住宅)は十二戸(大町)です。詳細は住宅係へお問合せ下さい。

○募集期間
九月十二日から二十日まで住宅係に申込書を提出する。

○市営住宅二十八戸
一般市民で住宅に困つて

○入居料
市営は月千八百円、道営は九百円の見込み。

○住宅の規格
一棟、四戸ブロック建、いずれも六畳一間(フロアリング)四畳半一間、三畳一間、建具つき。

○道営住宅十二戸
低所得者で母子世帯、十八才未満の子供がいること。あるいは身体障害者その他市長が適当と認められたもの。

○生関係の事務を一本にまとめ、市民の厚生面を積極的に進めることになつたものです。

これによつていままでいろいろの機構にまたがっていた厚生行政は、計画的、統一的に進められるわけです。

つまり今度の機構改革は、真に「市民のための市役所」へ大きななわらひとしたことです。

福祉事務所は旧法務局、経済課はそのあとに、市民課がもとの経済課へ。又水道課はもとの厚生課、財政課は水道課のあとに移りました。